

令和5年度 事業報告について

自：令和5年4月 1日

至：令和6年3月31日

社会福祉法人 大阪市都島区社会福祉協議会

令和5年度 事業報告

1 組織・運営体制の強化

(1) 理事会・評議員会の開催

会議名	実施日	主 な 議 題
理事会	5/29	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告（案）について ・令和4年度決算報告（案） ・監事監査報告について ・理事候補者の選定（案）について ・評議員の推薦（案）について ・評議員選任・解任委員の選任（案）について ・評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員会の開催について ・経理規程の改正（案）について
評議員会	6/26	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告（案）について ・令和4年度決算報告（案）について ・監事監査報告について ・役員を選任（案）について
理事会	8/31	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度高齢者福祉月間を中心とした敬老行事の取り組み(案)について ・評議員の推薦（案）について ・評議員選任・解任委員の選任（案）について ・評議員選任・解任委員会の開催について ・会長職務執行状況について
理事会	3/16	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第1次補正予算（案）について ・令和6年度事業計画（案）について ・令和6年度予算（案）について ・諸規程の一部改正（案）について ・役員賠償責任保険契約（案）について ・第2回評議員会の開催（案）について ・協定書（大阪拘置所）（案） ・会長職務執行状況について
評議員会	3/26	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第1次補正予算（案）について ・令和6年度事業計画（案）について ・令和6年度予算（案）について ・諸規程の一部改正（案）について ・役員賠償責任保険契約（案）について ・協定書（大阪拘置所）（案） ・会長職務執行状況について

(2) 会員の募集

- ① 賛助会員 個人 64人 (81口)
法人団体 14団体 (14口)
- ② 組織構成会員 34団体

(3) 善意銀行の運営

- 預託件数 (金銭) 3件 620,000円
(物品) 3件 鈴虫、車いす、書籍
- 払出件数 (金銭) 地域福祉活動推進事業 27団体
福祉ボランティア活動応援資金 8団体
居場所・つどいの場立ち上げ助成 5団体
(物品) 3件 鈴虫、車いす、書籍

善意銀行払出要綱に基づき40の地域・団体に払出をおこなった。

(4) 広報活動の推進

- ① 「社協通信みやこじま」の発行 (年4回: 7月・10月・1月・3月)
- | | | | | |
|------|----|---------|-----|---------|
| 発行部数 | 7月 | 36,000部 | 10月 | 36,000部 |
| | 1月 | 36,000部 | 3月 | 36,000部 |

(5) マスコットキャラクターを活用した取組

都島区社会福祉協議会のマスコットキャラクター「みやこりん」を活用し、区社協を効果的にPRした。

- 8月26日(土) 第34回 ベル・パークシティ夏祭り 1件
11月25日(土) 第6回 なかまとつながる地域の輪 1件

(6) 職員研修会の開催

- ① 人権研修
- | | |
|-----|-------------------------|
| 内容 | 「子どもの人権について」 |
| 実施日 | 8/24~31 インターネットによる動画視聴 |
| 内容 | 「障がい者の意思決定支援と虐待について」 |
| 実施日 | 12/19~25 インターネットによる動画視聴 |
| 内容 | 「多様な働き方・就労と人権について」 |
| 実施日 | 1/25~31 インターネットによる動画視聴 |

② 全体研修

内 容	「包括的な支援体制の構築に向けた社協の役割」
実施日	6/7～6/16 インターネットによる動画視聴
内 容	「コンプライアンス研修について」
実施日	2/15～3/7 インターネットによる動画視聴

2 在宅福祉サービスの実施及びその充実

車いす貸し出し事業

区社協利用申請件数 177件

3 地域福祉活動の支援

(1) 活動費助成（共同募金配分金事業）

総助成金額 2,063,885円

(2) 地域高齢者食事サービス事業の育成・充実

- 高齢者食事サービス・ふれあい喫茶連絡会の開催 12/14
 - ・ これまでの活動の振り返り
 - ・ 情報交換

(3) 「広げよう地域の輪」実施

毎年、障がい理解へのすそ野を広げていくことを目的に講座等を実施。

今年度は、福祉避難室の見学とワークショップを開催 2/3

(4) 「c a f é ま〜ぶる」の実施

「誰かとお話したい」、「何か活動に参加したい」方が、専門職のサポートを受けながら参加できる居場所として実施。

5/27 フードパントリーと同時開催で実施。

7/29 夏祭り

11/18 みやこじま防災大作戦2023への参画

(5) みやこじまピアカン（ピア・カウンセリング）の実施

新型コロナウイルス感染症の影響で、実施できず

(6) 福祉まいど相談

新型コロナウイルス感染症の影響で、実施できず

(7) 各種福祉関係事業への助成

・地域福祉活動推進事業【善意銀行払出金】	806,000円
・福祉ボランティア活動応援資金【善意銀行払出金】	248,000円
・居場所・つどいの場立ち上げ助成【善意銀行払出金】	195,000円
・各種事業助成金【共同募金配分金事業】	407,000円

(8) 物品の貸出事業

福祉教育用具 ① 高齢者疑似体験セット (1件) ② 車いす (1件) ③ 車いす体験用スロープ (2件) / 防災グッズ (0件) / おもちゃ (0件) / ボッチャ (4件) / プロジェクター (6件) / DVDプレイヤー (6件)

(9) 印刷関連機材貸出事業 (件)

貸出機材	高速カラープリンター	拡大機	パウチ機	裁断機	折り機
利用件数	308	1	0	2	2

(10) 子育て支援ネットワーク会議の取り組みへの参画

子育て支援ネットワーク会議への参画 4回 (5/16・8/24・11/21・2/14)
内 容 ア 子育てサロン等、子育て支援施設との情報交換・情報共有
イ 子育て支援に関する研修会や子育てネットワークイベントの話し合い

(11) 都島区子ども食堂情報交換会の開催

都島区内で開催している子ども食堂の関係者による情報交換会を開催した。
情報交換会の開催 1回 (2/18)

(12) 都島区社会福祉施設連絡会への支援

- ① 都島区社会福祉施設連絡会役員会の開催
5/11 総会の開催について等
6/20 総会の開催について、福祉ふれあいフェスタ開催について等
11/7 福祉ふれあいフェスタ振り返り、親睦交流会の開催について等
- ② 総会の開催
7/6 令和4年度活動報告について等
- ③ 福祉ふれあいフェスタの実行委員会の開催
7/12 出店内容の確認、従事者について等
8/23 出展配置、広報について等
10/25 福祉ふれあいフェスタ振り返り

- ④ 福祉ふれあいフェスタの開催
9/23 都島区民まつりと同時開催 (場所：毛馬桜之宮公園)
- ⑤ 親睦交流会の開催
2/9 29施設80人参加 (場所：ひがみや児童センター)
- ⑥ 施設職員研修会の開催
7/6 福祉施設に望むもの、まちづくりについて
講師：都島区長 藤岡 慶子氏
2/14 一水会・区社会福祉施設連絡会合同研修会
「社会福祉施設の公益的な取組みの推進」
講師：ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰 新崎 国弘氏

4 ボランティア・市民活動センターの運営

総合相談件数 149件

(1) ボランティア・市民活動センター実施内容

○ボランティア・アドバイザー連絡会

- 4/6 ・令和5年度の取り組みについて
- 6/1 ・近況報告等
- 8/3 ・区民まつりについて等
- 9/27 ・ボランティア講座・交流会について等
- 11/14 ・ボランティア講座・交流会について（振り返り）等
- 1/23 ・施設見学会について等
- 3/12 ・来年度に向けて等

○ボランティア養成講座

- 8/26 ・おもちゃドクター養成講座
- 12/2, 9 ・傾聴ボランティア養成講座



おもちゃドクター養成講座

○ボランティア学習会

- 10/6 ・ボランティア講座・交流会
「ボランティア活動って面白い！ “助け上手・助けられ上手” のすすめ
～生きがい・やりがい・楽しさ・自分発見の生き方探し～」
- 2/6 ・「稲むらの火の館」施設見学会



「稲むらの火の館」施設見学会

○福祉教育

- 6/8, 23 ・都島中学校2年生 車いす体験と車いすを利用している方のお話

- 12/4 ・中野小学校3年生 ボッチャ体験と車いすを利用している方のお話
- 12/7 ・友渕中学校2年生 ボッチャ体験
- 1/26 ・高倉中学校2年生 車いすおよび手引き体験、注意事項等の講話



福祉教育 中野小学校3年生



福祉教育 友渕中学校2年生

8/2 ・手作り体験教室

こども達が障がい者と出会い関わる機会をつくり、
障がい者の社会参加を促す。

当事者の体験談、革のしおりづくり



手作り体験教室

5 地域支援システムに基づく取組

自立支援協議会各専門部会への参加

開催日	内容
5/9	(地域当事者部会) 個別避難計画について、なかまとつながる地域の輪等
7/11	(地域当事者部会) 個別避難計画について、なかまとつながる地域の輪等
8/18	(全体会議) 個別避難計画について、各部会からの報告について等
10/10	(地域当事者部会) 個別避難計画について、なかまとつながる地域の輪等
11/17	(全体会議) 個別避難計画について、各部会からの報告について等
1/9	(地域当事者部会) 個別避難計画について、2024年度事業計画について等
2/16	(全体会議) 個別避難計画について、各部会からの報告について等

6 「みやこじま あんしんカプセル」の取り組み

ひとり暮らしの高齢者などが、自宅で万が一の事態に備えるための取り組み。

医療情報を「あんしん情報カード」をカプセルに入れ、冷蔵庫内に保管し必要な情報を伝える。カプセルと冷蔵庫扉には、シールを貼り、カプセルの存在を明示し、緊急時開封し、

活用する。各地域福祉コーディネーターや区社協ホームページにて周知。

7 都島区キャラバンメイト連絡会事務局の運営

ア 連絡会の開催 6回

(4/27、6/15、8/25、10/26、12/21、2/22)

イ 認知症サポーター養成講座の開催

実施日	開催先	参加者	人数
6/30	都島郵便局	都島郵便局員	11人
7/13	ふれあいセンターみやこじま	区内在住・在勤の方	8人
10/6	毛馬コーポ集会所	老人クラブ実年会	23人
11/11	北大阪福祉専門学校	新入生	5人

認知症サポーター養成数 440人 (★キッズサポーター146人含む)

11/22	★東野田ちどり保育園	4歳児・5歳児	70人
11/22	都島区民センター	区内在住・在勤の方	5人
2/8	★中野小学校	4年生	76人
2/16	都島区民センター	民生委員・児童委員	94人
2/20	NTTビジネスソリューションズ(株)	NTT職員	95人
2/28	T-GAIA西日本支社	T-GAIA社員	25人
3/16	みゆきコミュニティホール	区内在住・在勤の方	28人

ウ 栄養ワンダーラボ企画「“間食”しながら健康に！」への開催協力

- ・7/27 ふれあいセンターみやこじま 参加人数 10人
- ・7/28 ふれあいセンターみやこじま 参加人数 10人

8 防災に関する取り組み

(1) みやこじま防災大作戦2023

開催日 11/18

内容 救命救急体験、Caféま〜ぶる、
ロープワーク体験、防災さんぽ、起震車体験、等

参加者 約250名

協力 関西大学人間健康学部、ファミリーマート都島本通3丁目店
自衛隊大阪地方協力本部、都島区役所、都島消防署等



自衛隊のロープワーク体験

(2) 都島区災害救助部長・防災リーダー隊長合同会議への参画

合同会議 5/31、9/27、11/29、2/28 防災大作戦への協力依頼および報告

(3) 地域防災訓練への参加 2件

区役所との通信訓練等 9/1、2/3

(4) 区社協防災訓練 災害対策本部設置にかかる研修

テントの設営訓練を実施 3/5

(5) 大阪都島ライオンズクラブとの協定締結

災害時におけるボランティア支援に関する協定書を締結

9 受託事業の運営

(1) 地域包括支援センターの運営 [市公募事業] 担当圏域：桜宮・中野・西都島・東都島

① 総合相談

		令和 5 年度内累計	令和 4 年度内累計
相談 件数	相談実人員	987 件	892 件
	延べ相談件数	延 10,090 件	延 9,675 件
	訪問	延 1,554 件	延 1,283 件
	電話	延 7,484 件	延 7,475 件
	来所	延 930 件	延 789 件
内容 区分	経済・生活問題	5,118 件	4,087 件
	介護サービスに関する事	2,445 件	2,429 件
	介護予防サービスに関する事	871 件	627 件
	保健・医療サービスに関する事	557 件	787 件
	虐待に関する事	359 件	494 件
	成年後見制度の活用に関する事	147 件	149 件
相談 相手	本人	延 2,743 件	延 2,264 件
	介護支援専門員	延 1,420 件	延 1,832 件
	家族・親族	延 2,130 件	延 1,448 件
	行政・公的機関関係者	延 1,188 件	延 1,183 件
	医療関係者（医介連携Co除く）	延 814 件	延 787 件
	介護サービス提供事業者	延 532 件	延 872 件

圏域内の高齢者人口は前年度から24人増加し、11,007人であった。相談実人員は前年度に比べ95人増加。延べ相談件数は415件増加。1ケースあたりの対応回数は前年度10.8回であったが、令和5年度は10.2回に減少している。延べ訪問件数が271回増加しており、訪問することにより早期に次の支援につながり終結したことが考えられる。また、たび重なる対応を要する支援困難状況となるまでに包括につながり、適切な支援介入により、すみやかに終結に至ったと考えられる。

内容区分では、金銭管理・近隣トラブルなどの「経済・生活問題」が最も多かった。また、保健・医療が減少し、介護予防が増加しており、健康づくりへの取り組みが進んでいる。

② 取り組み

【介護予防支援・介護予防ケアマネジメント】

要介護状態にならないよう事業を実施。

「百歳体操ロージム S100」：介護予防を目的に立ち上げ支援を行った。毎週水曜日に約20名の参加者が自主的に運営し、年48回、1038名の出席があった。企業の協力で歩行測定会を2回実施し、意欲の向上や新しい参加者につながった。

「栄養ワンダー～間食しながら健康に」：管理栄養士による、栄養バランスのとれた食事の工夫についての講座を実施。

【権利擁護】

高齢者虐待対応や、高齢者虐待防止のための周知として、高齢者虐待が起きやすい認知症理解の啓発や、介護家族の会の開催支援を実施した。また、成年後見制度やあんしんさぽーと事業の利用支援をおこなった。

【包括的・継続的ケアマネジメント支援】

高齢者が自宅で生活を続けられるよう、介護支援専門員や高齢者の支援者の後方支援。

「自立支援型マネジメント検討会議 大会議」：介護支援専門員が作成した要支援者のケアプランを、医師・リハビリ職・管理栄養士・薬剤師等が、自立に向けて検討する会議を6回実施した。

「自立支援型マネジメント検討会議 小会議」大阪介護支援専門員協会に申請し、主任介護支援専門員法定外研修としても位置付け、2回実施した。

「地域ケア会議」：支援困難ケースについて、行政・介護・医療・地域支援者・法律などの多職種で、支援の方向性を検討する会議を9回実施した。これらの個別ケースの課題を積み重ねて地域課題を抽出し、事業につなげている。

【地域課題から取り組んできた事業】

「男のための座学～第二の人生を豊かにする」

男性の男性による男性のためのつどいの場として、孤立予防や生きがいづくりを目的として運営。奇数月に運営委員会で活動内容を企画し、偶数月に講座・遠足・実習などを実施した。造幣局桜の通り抜け（遠足）、黄桜伏見蔵工場見学（遠足）、救命講習（実習）、漢方について（講座）、津波高潮ステーション見学（遠足）、写経について（実習）、自宅でできる運動（実習／YouTubeで動画配信中）を開催し、延べ167名の参加があった。

「高齢者が元気なうちからもしもの時を考える」

- ・男の終活 「財産について」「葬儀について」「エンディングノートについて」
- ・家族介護支援事業～元気なうちからもしもの時を考える お後がよろしいようで～
「終活について」「高齢者施設ってどんなところ？」「在宅での看取り」

「障がい者の支援者と高齢者の支援者との連携」介護事業者合同研修会・多職種交流会

複合的課題のある世帯の支援に向けて、それぞれの分野の支援者が、学び合い、顔の見える関係づくりを目的に実施。53団体78名の参加があった。



「いきいき百歳体操ロージウムS100」



「男のための座学」救命講習（実習）



「家族介護支援事業」

元気なうちからもしもの時を考える

（２）生活困窮者自立相談支援事業〔市公募事業〕

窓口開設場所：都島区役所３階３２番窓口

開設時間：平日午前９時～午後５時３０分

- | | | |
|---|--------------------|----------------------|
| ア | 新規相談受付件数 | 657件（内、本人特定相談件数402件） |
| イ | 支援決定・確認件数 | 63件（再プラン含む） |
| ウ | 評価実施件数 | 68件（再プラン含む） |
| エ | 支援継続中ケース数 | 19件（令和5年3月末現在） |
| オ | 訪問同行支援延べ件数 | 220件 |
| ① | 自立支援調整会議 | |
| | 支援調整会議開催件数 | 102件 |
| ② | 就労支援 | |
| ア | 総合就職サポート事業 | 8件（再プラン含む） |
| イ | 生活保護受給者等自立促進事業利用件数 | 8件（再プラン含む） |
| ③ | 家計改善支援事業 | 5件 |
| ④ | 住宅確保と転居における支援 | 9件 |
| ⑤ | 法律相談事業 | |
| ア | 定例法律相談（都島区での開催） | 4/27、7/27、10/26、1/25 |
| イ | 法律相談利用者数 | 90件 |
| ウ | 内、担当弁護士受任者数 | 68件 |
| ⑥ | 緊急食糧等支援事業 | |

区内在住及び在住予定の生活困窮者等が、緊急かつ一時的に生計の維持が困難になった場合、食料等の生活に必要な現物、生計維持や就職活動に必要な経費を提供するなどの一時的に生活支援を行い、再び自立できる機会となることを目指し、区社協独自事業として実施。

実施件数 57件

⑦ 関係機関との連携

環境事業局や大阪信用金庫、日本もったいない食品センターなどから、食料の寄付

受領の機会が増加した。

⑧ ブロック会議開催

北ブロック連絡会 6/20、9/26、12/16、3/15 計4回開催

⑨ フードパントリーの取り組み

区見守り相談室等と連携し、各窓口の相談者の中で気になる方を中心に声かけした。本年度は、特にひとり親世帯を対象に小中学校等に協力を得て広く周知した。フードドライブなどで集められた食料品や日用品、地域団体からの食料等の寄付を活用して配付をおこなった。また出張相談窓口としての役割も担っており、「誰に助けを求めてよいかわからない」といった方の相談のきっかけとなるよう実施した。

回数	日時	参加者
第14回	5月27日(土) 午後1時30分～4時	28組
第15回	6月26日(月) 午後2時～4時	11組
第16回	8月8日(火) 午後5時～7時	19組
第17回	10月12日(木) 午後5時～7時	16組
第18回	12月1日(金) 午後4時～7時	25組
第19回	12月26日(火) 午後4時～7時	17組
第20回	3月2日(土) 午後2時～4時(出張)	17組
合計		133組

第18回～第20回は大阪都島ライオンズクラブからの善意銀行指定寄付を活用し、ひとり親家庭の支援として、クリスマスケーキ・おせち・ちらし寿司を配布。季節の行事を楽しんでもらうことができた。

第20回は大東地域へ出張として、連合振興町会や民生委員児童委員協議会の協力のもと開催。また子どもたちの交流や社会参加の場として、「MIYAKO ASOBI FESTIVAL」を同時開催し、大東地域より有志でご協力いただいた。

(3) 地域福祉コーディネーター事業 [区受託事業]

地域ごとの福祉相談窓口として住民からの相談に応じるとともに、アウトリーチにより、困りごとのある世帯の発見に努めた。また、地域ネットワークを活かし、行政や相談支援機関と連携しながら個別支援や地域づくりに努めた。

体制：9地域の福祉会館等に10人(内1地域は複数配置)のコーディネーターを配置
開設日・時間：月～金曜日、1日5時間の業務

・コーディネーター連絡会

奇数月 関係機関との情報交換

偶数月 コーディネーターと担当職員で小規模な連絡会や研修会

個別支援や地域づくりの情報交換など、資質の向上を目的に開催。

① 地域福祉コーディネーター連絡会・研修会

	日程	内容
連絡会	4/14、5/12、6/9、7/14、8/18、 9/8、10/13、11/10、12/8、 1/12、2/9、3/8	個別支援や地域の活動などの情報共有 スタンプラリー、フードパントリーの検討など
研修会	食品ロス研修 「知ってる食品の期限表示。～食品の現状と 日本もったいない食品の活動」 5/12	日本もったいない食品センターに講師依頼する。
	eスポーツ体験会 7/14	認知症予防や健康づくりに効果があるとされているeスポーツの体験会を実施。
	地域診断 10/13	地域の方にも参加を呼びかけ、地域診断を実施。
	気づきの共有会（中野地域） 2/18	中野見守り事業の定例会で「気づきの共有」を実施
	セルフケア研修会『ミュージックケア』 3/8	個別ケースの対応が深刻化する中で、音楽を活用し緊張を解きリラックスしながら自身の身体について見つめなおす機会を設ける

【コーディネーター新聞‘おうち日和’の継続発行】

コロナ禍で地域でのつながりが途切れないうコーディネーター新聞‘おうち日和’を年4回発行。地域の宝箱では、各地域で活躍する人を順に掲載している。見守りや安否確認を兼ねてポスティングや訪問、食事サービス等で声をかけながら配布を行った。

【スタンプラリーの拡充】

「一日誰ともしゃべらない」「外出する機会が減り、足腰が弱ってきた」という住民の声から‘おでかけスタンプラリー’が誕生。

神社やJRの駅にも協力を得ながら、区内14箇所のスタンプ地点で実施。

参加者数 428人（捺印29,604回）

達成者数 908人（スタンプ15個または30個で達成）

また、各地域の会館などでは、地域社会福祉協議会や連合振興町会などの協力のもと、地域独自の取り組み（脳トレや塗り絵、折り紙、川柳、クイズ、スマホ講座、ラジオ体操など）に発展している。

○孤立発見プロジェクト（令和3年1月より発足）

地域を基盤とした多面的・多角的な孤立世帯の掘り起こしをおこなった。

・プロジェクト会議：孤立世帯を発見するための仕組みを検討する会議

7/6、1/23（地域診断）、1/30

【つながりいろいろ交流会】

孤立している世帯の増加のともない、課題のあるケースが埋もれてくる中で、早期に発見し支援ができるように、地域住民、支援者のつながりができるよう、多様な団体の取り組み紹介や異業種交流会を実施する。

12/22 午後14時～17時

地域住民、URやボランティア団体、弁護士など

50団体81名が参加



【コンビニとの連携】

ファミリーマート3店舗とICTを活用した相談の仕組みをモデル的に実施

【地域への出張講座】

ひとり暮らしや高齢者のみの世帯などが活用できる社会資源や相談窓口、介護保険制度、地域で長く暮らすために参加できる地域活動の紹介などの講座を実施した。また、みやこじまあんしんカプセルの周知を行い、自宅で万が一の事態に備えることの重要性について説明をおこなった。

開催日	開催場所	参加者
5/10	西都島老人クラブ連合会	25名
5/19、5/24、 6/5	リバーサイド城北	20名
6/16	京橋グリーンハイツ 楽友会	25名
10/21	桜宮リバーシティ・ウエスト	31名
10/28	セントプレイスシニア会	42名
2/17	桜宮リバーシティ・ウエスト	33名

（4）地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業 [大阪市委託事業]

① 要援護者名簿をもとにした見守り活動の推進

ア 郵送による同意確認

新規対象者 870人 回答数 570件

イ 訪問による同意確認

総訪問数 553人 回答数 151件

ウ 見守り活動連絡会及び名簿交換の開催

地域名	日 時	対 象	場 所
桜宮地域	4/24	連合振興町会	桜宮福祉会館
	4/25	民生委員	桜宮福祉会館
中野地域	7/20	中野見守り活動連絡会	都島区民センター
	9/18	敬老の日チラシ配布	ふれあいセンター
東都島地域	3/22	民生委員	東都島福祉会館
西都島地域	3/25	民生委員	西都島福祉会館
内代地域	3/1	内代見守り連絡会	内代福祉会館
高倉地域	11/16	民生委員	高倉福祉会館
	11/21	連合振興町会	高倉福祉会館
友渕地域	12/25	地域活動協議会	友渕福祉会館
		民生委員	友渕コーポ
淀川地域	5/20	連合振興町会	淀川福祉会館
	6/3	民生委員	
大東6町会	7/5	あんしんカプセル	ふれあいセンター

② 孤立世帯等への専門的対応

ア 相談件数 5,049件

昨年度より相談件数が1,075件増加したが、就労に関する相談は減少傾向。

イ 相談実人員 939人

ウ アウトリーチ(支援拒否) 218件

③ 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見に向けたメール配信 (通称：見守りメール)

ア 配信先協力団体 124団体

イ 登録者現在 60人

ウ 配信件数 4件

(5) 生活支援体制整備事業

① 協議体の設置及び会議の開催

ア 第1層協議体会議 4回

開催日 7/19、9/26、3/6、3/25

内 容 計画や実施の報告、検討課題の共有など

イ 第2層協議体会議 2回

開催日 (区包括圏域) 11/7

(北部包括圏域) 11/8

内 容 地域の社会資源や活動状況の情報共有、意見交換など

② 地域資源・サービスの開発等

ア 新規立ち上げ、拡充件数：介護予防（趣味、学習、運動など） 10件
：生活支援 0件

イ 重点的な取り組み

- ・ eスポーツ体験講座の実施（全4回 7月実施）

認知症予防につながる新たな地域活動として、大阪市と共催で開催。コンピューターゲームを使用して参加者同士で対戦をおこなった。体験会実施後は、中野地域のeスポーツ活動の実施につながった。

- ・ 東都島スマホ教室の立ち上げ

身近な地域で高齢者がスマートフォンの操作について学び、交流できる場として新たに立ち上げた。スマホサポーター（ボランティア）の活躍場にもなっている。

- ・ 三陽ハイツの取り組み

高齢化と住民のつながりが希薄化しているとのマンション住民の声から、マンション集会所での百歳体操が立ち上がった。「小さなサロン講座」を実施したことで、自宅を開放したサロンの再開や集会所でのサロン活動実施にもつながった。



第2層協議体（生活支援体制①）



東都島スマホ教室（生活支援体制②）



広報紙（生活支援体制③）

(6) あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）の実施

	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	不明・その他	総数
相談件数(延べ)	1, 5 8 3	4 1 8	6 5 0	8	2, 6 5 9

民生委員会議・ケアマネージャー連絡会等にて事業説明（実施回数）15回

(7) 生活福祉資金貸付事務事業

(件)

内容	相談件数
総合支援資金	1 3
教育支援資金	1 6 7
生活福祉資金	3 3 4
緊急小口資金	1 0 3

臨時特例つなぎ資金	2
不動産担保型資金	3
離職者支援資金	2
コロナ特例 (内フォローアップ)	435 (87)
合計	1,059

1.0 介護保険事業の実施状況

居宅介護支援事業

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護	33	31	31	30	33	33	32	32	33	32	31	30	31.75
要支援	22	22	22	22	22	20	20	17	21	19	17	19	20.25

1.1 介護予防事業の実施状況

大阪市介護予防教室 (なにわ元気塾)

生活機能の向上や認知症予防などの観点から、体操や口腔・栄養、創作活動やレクリエーション活動などを各地域の会館等において実施した。4月には「なにわ元気塾」に参加されていない方を対象にして体験教室 (ミュージックケア) を開催しました。新たに19名の方が登録されて、3月末時点で235名の登録がありました。

実施回数：119回 参加者：1566人 (延べ) ※全日程を開催しました。



「なにわ元気塾」体験教室 (R5.4.14)

1.2 老人福祉センター事業報告 [大阪市委託事業]

地域高齢者の健康維持・介護予防につながる事業を中心に運営した。特に3つの重点施策として、【①介護予防・健康づくりによるフレイル予防】【②高齢者福祉の拠点づくり・孤立防止】【③ボランティア人材の育成・高齢者の生きがいづくり】の 카테고리を中心にしたプログラムを組み立てて遂行した。又、幅広い利用者の獲得に向けて、ホームページの毎月更新と、センターだよりの発行だけでなく、5大新聞への案内チラシの折り込みも実施し、増員を図った。

(1) 事業内容

① 講座・講習会・イベント

令和5年度 事業名	回数	平均人数	備考欄
◆高齢者の居場所づくり、孤立防止の取り組み			
ふれあいカフェ	5回	1回18人	89人参加
◆健康づくりと介護予防の促進講座			
認知症予防トレーニング	12回	1回22人	269人参加
出前講座（淀川老人憩の家：すこやかマッサージ&ダンス）	1回	1回40人	地域ニーズに合わせてアウトリーチ
ノルディックウォーキングウォーキング&ヨガ	4回	1回15人	59人参加
◆健康・体力作り事業			
ラジオ体操	101回	1回31人	3114人参加
すこやかマッサージ&ダンス	7回	1回25人	175人参加
ゆるのび健康体操	4回	1回27人	109人参加
ヨガ説明会・体験教室	2回	1回25人	49人参加
省三先生の元気アップ講座	1回	1回38人	38人参加
どンドン歩こうお出かけスタンプラリー	135回	1日30人	4059人参加
スタンプラリー測定会	7回	1日25人	175人参加
◆生きがい探求講座・教養講座			
カラー筆ペンで書く季節の美しいことば	2回	1回11名	23人参加
スマートフォン教室	3回	1回17人	52人参加
お誕生日写真撮影会	6回	1回9人	56人参加
◆高齢者の生きがいと健康づくり推進事業			
いきいき百歳体操	98回	1回9人	3083人参加
ぴんしゃん教室	45回	1回10人	1308人参加
落語会	1回	62人	文化祭のイベント

② その他

●都島区老人クラブ連合会の連携

毎月1回定例会の開催、スポーツ大会等の実施や会員募集などを支援した。

●相談支援事業

日常生活の困りごとや介護・認知症など各種相談援助事業を実施した。【年間15件】